

「働く人のためのインターネット家庭教育講座」

実施団体：富山インターネット市民塾推進協議会（実施エリア：富山県）

富山県は、核家族化の進行や共働き世帯の増加がもたらす子育て家庭への影響を重く捉え、子育て家庭の不安や悩みの解消、育児の孤立化の防止、地域社会としての子育て力の強化を重要施策として掲げている。

富山県の委託事業である本事業は、育児の不安を抱えているが、生活環境の都合により、家族や地域の方に対し十分に相談できない親のために、インターネット経由により、自宅のパソコンで自身の都合の良い時間に、正しい家庭教育を学ぶことができる仕組みを構築した。情報コンテンツの提供は、富山大学が協力し、本来であればシンポジウム等まで出さなければならぬ講義内容を利用者に提供している。

地域課題

- 核家族化や地域社会との交流の希薄化により、子育てに悩む親の育児の孤立化が進行し、子育てに関する精神的負担が増加している（育児相談できる相手・場所が減少している）。
- 共働き世帯の増加により、親が家庭教育を学ぶ時間を確保することができない。

目的・目標

- 家庭教育等に関する専門的な知恵を提供し、子育てに関する不安や悩みを緩和する。
- 自宅等で好きな時間に家庭教育等を学ぶことができる学習環境を構築する。

<事業の経緯・背景>

核家族化や地域社会との交流の希薄化、共働き世帯の増加による育児の孤立化を不安視 子育ての不安や悩みを解消するために、好きな時間に家庭教育等を学べる環境を構築

--事業の経緯・背景を教えてください。

全国的に核家族化が進む中、富山県でも核家族化と、地域社会との交流の希薄化が進行し、共働き世帯が増加しています。富山県は、この社会問題の発生による、子育て家庭への影響を重く捉え、子育て家庭の不安や悩みの解消、育児の孤立化の防止、地域社会としての子育て力の強化を重要施策として、行政サービスの提供に取り組んでいます。

本事業は、富山県が子育て支援の一環として進めている「親を学び伝える家庭教育推進事業」の拡充事業として、委託された事業です。平成23年度より、事業企画及びサービスの提供を開始しました。翌平成24年度についても、富山県インターネット市民塾が受託しました。



富山インターネット市民塾推進協議会 柵 富雄氏（左）、前橋 雄治氏（中央）、富山大学人間発達科学部 神川 康子教授（右）

--事業サービスの対象者について、教えてください。

地域社会（学校等）との交流が希薄であり、これまでの行政サービスの在り方では、サービスを届けることができなかった子育て中の親を、本事業サービスを提供すべき対象者として捉えています。富山県で別途実施している、対面式の子育て活動支援（保育園等で、同年代の子どもを育てる親に対して実践している、ワークショップ形式の家庭教育）に参加している親も、当然本事業サービスの対象者ですが、仕事等の都合により対面式のワークショップに参加できない方や、誰かに育児相談することを億劫に感じている方を支援すべき対象者として考えています。



事業紹介用パンフレット。県民に広く周知するには、普及啓発活動は欠かせない。

このような状況にある方の悩み解決を支援することや、家庭教育に関する正しい知恵を提供することにより、孤立した育児環境からの脱却を促し、地域社会としての子育て力の強化を目指しています。

--左記対象者に対して、どのようなサービスを提供していますか。

インターネットを利用したeラーニング形式による、家庭教育講座を開講しています。ウェブサイトの利用・講座の受講にあたっては、インターネットに接続されている環境にある方であれば、誰でも、自分の好きな時間に利用することができます。また、登録料や受講料を支払う必要はなく、全てのサービスを無料で提供しています。

提供している講座は、本事業のために、主に富山大学の先生方に講座を実施していただき、事業実施主体である富山インターネット市民塾推進協議会が撮影したものです。



ウェブページ画面のイメージ。オンラインによる動画視聴で様々な講座を受講できる。利用者登録なども一切不要。

初めて学ぶ内容ばかり。子どもの事故や病気について、知らないことがいくつもありました。
 今回学んだことにより、子育ての問題に少し余裕をもって対応できる気がします。

--どのような情報コンテンツ（家庭教育に関する講座）を無料配信していますか。

平成25年3月現在は、大きく2つのプログラムを構成しています。1つ目は、家庭教育に関する講座で構成されている「とやま親学び講座」であり、4つの講座を配信しています。2つ目は、子育てに関する講座で構成されている「専門講座」であり、こちらも同様に4つの講座を配信しています。これらの講座は全て、富山大学の先生方にご協力いただき、動画撮影したものを配信しております。また、上記講座の他にも、子育ての場で遭遇する様々なケースに対し、親としての心構えや考え方のアドバイスをまとめたQ&A集等のプログラムを設け、動画による回答を配信しています。



配信している家庭教育講座の内容。大学の講義や講演に参加しなければ受講できないような、講座を提供している。

-- 家庭教育に関する講座を利用した方の反応はいかがですか。
 我々は子育てに関して悩みを抱える親を対象に、講座を配信していたのですが、他の大学の先生から「有意な情報を得ることができた」、「是非講義で活用したい」とのご連絡を受けました。我々としては想定外の方からの反応ではありましたが、他の先生方から評価される講義内容であることから、我々の取組や配信している講座内容は子育て環境の改善に寄与する取組であることを再認識することができました。動画撮影にご協力いただいた先生からは、自身の講義でも活用することを検討している旨を伺っています。

--家庭教育に関する講座を利用した子育て中の親からはどのような意見が寄せられていますか。
 受講者の方から、以下のような意見が寄せられています。（サイト内に掲載）

睡眠習慣と学力及び健康
 睡眠不足が、子どもの健康や活動のみならず学習能力にまでよくない影響を及ぼすとは想像もしていませんでした。自分自身もそうでしたから、高校生は成績を維持するため、睡眠不足が当たり前だと思っていました。が、神川先生の講座を聞いて気持ちも混乱しています。学校からは3~4時間の家庭学習が望ましいと指導をされていますし、本人のがんばる気持ちを知ることができませんから、母としては睡眠不足をどうすることもできません。また、同じ睡眠時間でも、できるだけ良い時間帯に質の良い睡眠をさせてやりたいと考えます。また、テレビ・ゲームの時間が長い子どもの状況は、まさに我が家の三男です。集中力がなく、決まり・約束を守れない、成績も下降。母として何とかならないかと小学校高学年からずっと心配してきた状況は、睡眠不足のためだったのかと納得させてもらいました。これまでも、テレビ・ゲームの時間を制限したり、11時前に就寝するよう学校保健委員会で本人も聞いていますが、継続できていません。でも、睡眠不足の影響とわかったことは初めの一歩で、これからどうしたら早めに就寝できるかを子どもと共に考え、試行錯誤していこうと決意を新たにしています。

40代 女性 自営業(六学・専門学校生男児/高校生男児/中学生男児)

緊急時の対応と子どもの事故予防
 種市先生の講座を拝聴して、我が家の子どもたちもよくぞ無事に育ってくれたと胸が痛くなりました。そして、子どもを取り巻く事故や病気について、知らなかったことがいくつもあり、知らずしていることの悔しさを感じました。私が母になって以来、市の乳児検診や保育園・学校などで、子育てに関することや事故や病気の予防について講演を聴いたり、お知らせのプリントをいただいて学ぶ機会があり、随分と子育てに役立ちました。が、けれども時の対応やバットと病気について、水泳・じつこのメッシュ生地の場合も初めて聞きました。子どもが小さいうちは、大人ができるだけ目を離さず、異変を敏感に感じ取ることが大切という思いです。また、情報を知っていることも重要です。子育て中の方が情報を得る機会に恵まれ、正しい対応ができることを願っています。

40代 女性 自営業(六学・専門学校生男児/高校生男児/中学生男児)

思春期の子どもの理解とサポート
 思春期に関する子どもたちの様々な変化や悩み、成長など悩み碎いてわかりやすく説明されていて、良かった。また、図式化されている部分は理解を深めるのに役立った。理解不能な子どもの心理が良くわかり今後の対応を少し余裕を持って変えていけるような気がする。時間的にも気軽に聞ける長さでよかった。

50代 主婦(20代男児/20代女児/高校生男児)

導入効果（アウトカム）と導入規模（アウトプット）

導入効果（アウトカム）※

導入規模（アウトプット）

- 顧客** 家庭教育受講機会の増加、育児に関する悩みの解消
- プロセス** 住民一人ひとりの生活状況に応じた育児支援の実現（対面式でのワークショップ等に参加することが困難である住民に対し、e-learning形式の育児支援を実現した）

- 情報コンテンツ数 : 8講座
 （「とやま親学び講座」：4講座、「専門講座」：4講座）
- 収録動画時間 : 5時間32分
- アクセス数 : 28,000ページビュー
 ※平成23年10月～平成25年3月（18か月）

※導入効果はバランス・スコアカードの視点（「財務の視点」「顧客の視点」「業務プロセスの視点」「学習と成長の視点」）を用いて記載しています。バランス・スコアカード：組織の業績・効率を計測する評価手法であり、事業のパフォーマンスを4つの視点によって評価・分析する手法。

<事業成功のポイントと今後の課題・展望>

事業成功のポイントは、富山県・富山大学・インターネット市民塾の長所を掛け合わせたこと
今後の課題は、PR実施・技術的な対応に向けた収入源確保

事業成功のポイント

事業成功の1つ目のポイントは、富山県・富山大学・インターネット市民塾の三者がそれぞれの長所を持ち寄り、お互いの組織を尊重して事業に取り組んだことだと考えます。富山県には、委託事業であるものの、事業実施に必要な財源や機器等を支援いただき、富山大学には専門家による講座撮影にご協力いただきました。インターネット市民塾は、これまでの市民塾としての地域密着型サービス提供の知見とサービス提供に関する技術力を提供しています。本事業は、三者のいづれかが欠けた場合、成功しなかったと考えます。

2つ目のポイントは、企画・構成に注力したことだと考えます。特に、配信すべき講座内容については、富山大学の先生の幾つもの講義を受講に伺い、本事業で最も適した講座内容の編成を行いました。これにより、利用者にとって必要な講座を提供できていると考えます。

今後の課題と展望

課題として捉えている事項は、子育てに関する悩みを抱えている方に、本事業を知っていただくためのPR活動を充足させることです。事業開始当初は、ラジオ番組やケーブルテレビ番組内で宣伝を行っていましたが、利用者数は年々減少傾向にあります。一方で、子育てに関する悩みは普遍的に存在するものだと考えているため、子育てに関する悩みを抱えている親に、本事業を知ってもらう手立てを打つことが必要と考えます。

ただし、事業のPR活動を実施するためには費用がかかります。PR活動費をどのように確保するかが、根本的な課題であると認識しています。

導入概算費用等

本システムを導入した場合の概算費用

- ・導入費用：約270万円（内訳：撮影・開発費約270万円）
- ※運用保守費用は、他のサービスで有する費用と統合して管理している。



情報コンテンツ（講座）の撮影に関して、一部機材を富山県より借用し、映像の編集に際しては、富山県映像センターを利用させていただいたことにより、必要経費の削減を図った。

事業実施体制

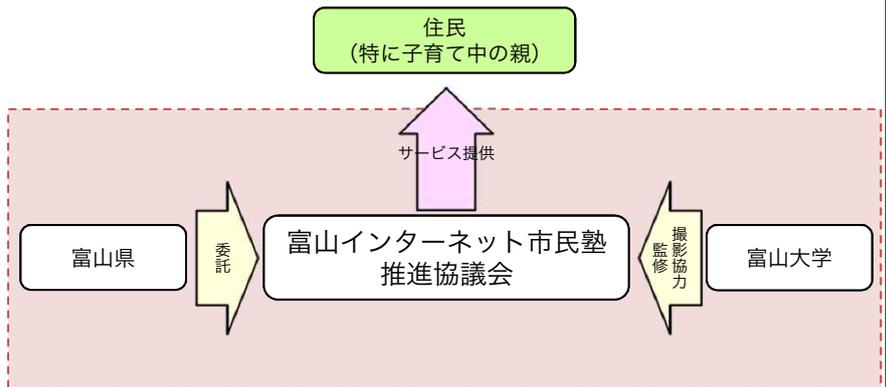
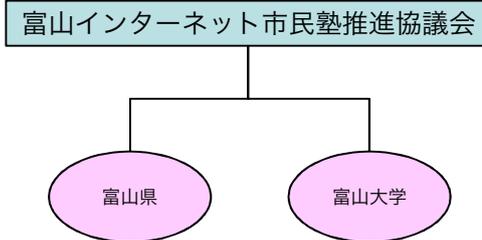
事業主体 : インターネット市民塾
サービス提供対象 : 住民（特に子育て中の親）

事業実施体制

事業実施相関図

凡例

- : 実施主体等
- : 協力団体
- : ベンダ等



<事業主体の横顔>



インターネットを通じた在宅学習などの新しい学習の場を創設し、県、市町村、大学等教育機関、企業、学習団体、個人等が共同で運営にあたり、地域の人材育成、地域活性化および地域情報化の推進に貢献することを目的とする。

<本件に関する問い合わせ先・導入検討・視察の相談先>

富山インターネット市民塾推進協議会
所在地：富山市牛島新町5番5号
事業内容：インターネットを活用した学びの場の提供、
日常の知恵や経験を伝えあうコミュニティの創出等
代表者：山西 潤一（理事長）、柵 富雄（事務局長）

富山インターネット市民塾推進協議会
電話 076-439-8666
e-mail:support[atmark]shiminjuku.org

※スパム対策としてメールアドレスを一部変更して記載してあります。
eメールを御送付の際は、「[atmark]」を「@」に変えてご利用ください。

調査協力：富山大学総合情報基盤センター 黒田卓教授